

なびあ

NAGASAKI
INTERNATIONAL
ASSOCIATION

2022.3

VOL

114

令和3年度通訳ボランティアステップアップセミナーの様子



Contents

- **事業報告**
 - ・「カレンダー市2022～あなたにもできる国際協力～」を開催しました！……………2
 - ・令和3年度通訳ボランティアステップアップセミナー・災害時多言語ボランティア養成講座を開催しました！…3
 - ・多文化共生をテーマとした「日本語学習支援者」のためのオンライン講演会と研修会を開催しました！……………4
- **長崎県国際課からのお知らせ**
 - ・日本語教育に関するWEBアンケートの結果報告と地域日本語教室について……………4
- **外国人支援**
 - ・最終回 やさしい日本語を使って外国人と話そう！…5
- **コラム**
 - ・長崎県外国人相談窓口にベトナム人相談員が着任しました！……………6
- **世界でキラリ☆JICA海外協力隊**
 - ・子どもたちのために出来ることを—スリランカでの障害児支援—……………7
- **協会からのお知らせ**
 - ・国際交流応援プロジェクトの支援団体を募集します！…8
 - ・外国人のための専門家による相談会……………8
 - ・外国人お助けガイドブックの紹介・賛助会員募集…8

協会HPは
こちら！



Facebook
はこちら！



私たちは賛助会員として長崎在住外国人を応援しています！

安達株式会社

扇精光ホールディングス株式会社

ヤナセ産業株式会社

FROM ながさき協同組合

長崎県青果移出商業協同組合



公益財団法人

長崎県国際交流協会

Nagasaki International Association

〒850-8062 長崎県長崎市出島町2番11号



TEL 095-823-3931

095-823-3929

FAX 095-822-1551

Eメール nia@nia.or.jp

HP <https://www.nia.or.jp>

FB <https://www.facebook.com/nia.nagasaki/>

事業報告

「カレンダー市 2022 ～あなたにもできる国際協力～」を開催しました！

(2022年1月15日(土) 於：長崎県美術館2階ホール)

「カレンダー市 2022 ～あなたにもできる国際協力～」を学生国際 NGO BOAT 主催、長崎県国際交流協会共催で開催いたしました。昨年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止となってしまうため、2年ぶりの開催となりました。感染予防にご協力の上、ご来場いただいた皆様、ありがとうございました！ 今年のカレンダー市について、学生国際 NGO BOAT 代表の藤田さんがご報告いたします。

今年のカレンダー市は、人数制限や来場者のゴム手袋着用など十分な新型コロナウイルス感染対策を行った上で開催いたしました。様々な企業・団体等の皆様からご寄贈いただいたカレンダーや手帳を100円～500円の低価格で販売させていただきました。多種多様なカレンダー、手帳を皆様からご寄贈いただいたおかげで、来場者の方々も楽しみながら選ばれ、購入されていました。

今年は新型コロナウイルス感染防止のため1日のみの開催でしたが、例年通り多くの方々にご来場いただき、総来場者数186名、総売上金額141,700円と盛況の内に終了いたしました。

今回の収益金は、私たち学生国際 NGO BOAT が2020年2月に訪問いたしました、フィリピンの NGO 団体「Development Action for Women Network (DAWN)」と「Childhope Philippines Foundation」に寄付させていただきます。DAWN は日本へ移住後に帰国したフィリピン人女性や、フィリピン人の母と日本人の父を持つ JFC (Japanese-Filipino Children) の家族をフィリピン社会に再統合させるための支援、彼らの人権と福祉の保護及び促進を主な目的として活動を行っています。Childhope は路上教育や職業技術訓練などを通して、フィリピン・マニラ首都圏のストリートチルドレンへの支援を行っています。

私たち BOAT は、コロナ禍に負けず国際ボランティア活動グループとしての活動をさらに活性化させていきたいと考えています。私たちの活動内容については、学生国際 NGO BOAT のホームページ (<https://ngoboat.jimdo.com/>) にて、随時報告していきますので、ぜひご覧ください。

今回ご協力いただきました企業・団体等の皆様には、厚くお礼申し上げます。今後とも私たち学生国際 NGO BOAT を何卒よろしく願いいたします。

学生国際 NGO BOAT 代表 藤田 裕佳



今年のカレンダー市の様子



Childhope Philippines Foundation 訪問時



Development Action for Women Network 訪問時

事業報告

令和3年度通訳ボランティアステップアップセミナーを開催しました！

(2022年2月28日(月) 10:00～12:00 於：原爆資料館前－爆心地公園－平和公園)

(一社)九州通訳・翻訳者・ガイド協会 長崎県支部長 小川美由紀さんを講師に迎え、令和3年度通訳ボランティアステップアップセミナーを開催いたしました。参加者は、外国人観光客役の留学生に対し、原爆資料館前から爆心地公園を通り、平和公園までの間にある16スポットを、順番に英語でガイドしました。パンフレットには載っていない地元ならではの情報や、自分の家族のエピソードなどを織り交ぜながら実践し、参加者同士で知らない情報や面白い情報を教え合うなど有意義な時間となりました。また、講師の小川さんからは、まずは目に見えているものから説明すること、また、外国人になじみの少ない「途中で平らになるエスカレーター」には注意しながら誘導することや写真のポイントも忘れずに教えてあげるなどもご指導いただきました。参加者からは「経験豊富な講師の方の助言は有意義でした」「外国人視点での意外な質問もあり、良い練習になりました」とのお声をいただきました。



当時は住宅地だったため、家の瓦やコップ、焼けた土や溶けたガラスなどが埋まっています。



「あの山の名前は？」と観光スポットの周囲の情報について質問を受ける一幕も。

**令和3年度災害時多言語ボランティア養成講座を開催しました！**

(2022年2月28日(月) 13:15～15:00 開催方式：オンライン (Zoom))

(一財)熊本市国際交流振興事業団の勝谷知美さんを講師にお迎えし、令和3年度災害時多言語ボランティア養成講座を開催いたしました。講座には長崎県・市町・当協会の災害時多言語ボランティア・長崎市の通訳ボランティアの皆さんが参加されました。講座の前半では、講師の勝谷さんより、2016年4月に発生した熊本地震の状況説明や、熊本地震で外国人住民が直面した課題、災害多言語支援センターや災害時多言語ボランティアの役割などについてお話いただきました。言葉の壁や災害に関する背景知識の不足、また文化の違いによる多様なニーズを理解すること、そして、外国人住民が情報を理解し、正しい行動をとることができて、初めてその情報は有益な情報となることを忘れずに「伝わる情報」を発信することが大切であることを教えていただきました。また、講座の後半では、熊本地震で実際に外国人支援にあられた、熊本市外国人総合相談プラザの中国語相談員である楊軍さん(谷尾陽子さん)にも、炊き出しや避難所巡回、外国人被災者のための生活相談会の様子などを共有していただきました。参加者からは「熊本のケースをもとに、体験に即した気づきを聞くことができ大変貴重な機会となりました」「災害は長崎でも起きるかもしれないという意識を持って、平時からの訓練が必要だと感じました」などの感想をいただきました。



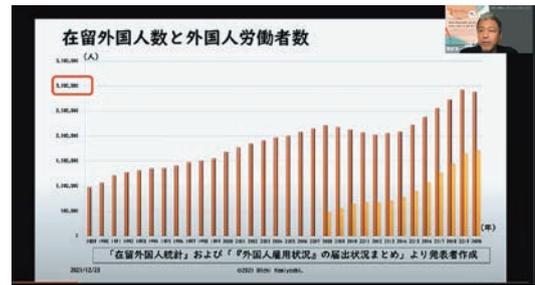
資料の一部 (熊本市での災害多言語支援センターの様子)

事業報告

多文化共生をテーマとした「日本語学習支援者」のためのオンライン講演会と研修会を開催しました！

12月23日（木）、武蔵野大学の神吉宇一さんを講師にお迎えし、「再考・多文化のまち ながさき—長崎県で外国人と共に働き・暮らす—」をテーマに、これからの地域社会と外国人とのコミュニケーションについて講演いただきました。国内の在住外国人数の推移や、取り巻く状況についてお話いただき、県内の多文化共生や地域づくりについて、再考する機会となりました。

そして、1月から2月にかけて、「ながさき Well-being 多文化共生の未来研究—多様な日本語コミュニケーションを考えよう—」の研修会（全5回）をオンラインで開催いたしました。多文化共生に関心のある県内在住の方々に参加いただき、グループワークを通して「やさしい日本語」や対話・聴く姿勢について学んだり、長崎で暮らす在住外国人や移住者、日本語教室に携わっている方々、外国籍の親子支援、地域コミュニティで活躍されている方など、様々な立場のゲストスピーカーのお話も聞いていただきました。そして、改めて「多文化共生」とはどのようなことかを参加者全員で対話し、考えを深めることができました。



「ながさき Well-being 多文化共生の未来研究—多様な日本語コミュニケーションを考えよう—」
 講師：佐野 香織（長崎県国際大学）／和田 一菜（ことばサロン TSUMUGI／研修プログラムコーディネーター）
 主催：NPO 法人国際活動市民中心（CINGA）
 共催：（公財）長崎県国際交流協会／協力：長崎県

長崎県国際課からのお知らせ

日本語教育に関するWEBアンケートの結果報告と地域日本語教室について



「なびあ 112号」で周知をお願いしました「日本語教育に関するWEBアンケート」について、計305名の外国人住民からご回答をいただきました。改めて、WEBアンケートの周知にご協力いただいた県民の皆様へ感謝申し上げます。このWEBアンケートでは、回答者の約8割が、過去1年間の仕事や生活の場面において、日本語が不自由で困った経験があると回答しています。また、日本語を学習していると回答した人の約半数近くが、主に「独学」で勉強しているとの結果が出ました。独学の主なデメリットとして、先生との交流や生徒同士の交流が持てない点が挙げられました。

●地域日本語教室について

外国人住民が地域と交流を図りながら日本語を学ぶ手段の一つとして、地域日本語教室があります。近年、地域住民がボランティアとして、外国人住民に日本語を教えるスタイルの地域日本語教室が、全国的にも増加しており、日本語学習の場のみならず、地域の多文化共生の推進の場となっています。しかし、長崎県にある地域日本語教室は、6教室（※）と、九州で最も少ないのが現状です。

（※）長崎市2教室、佐世保市2教室、大村市1教室、五島市1教室。佐世保市の2教室は同一団体が開催。

●令和4年度の日本語教育に関する長崎県の取り組み

長崎県では、多様なライフスタイルを持つ外国人住民の皆さんが日本語を学びやすい環境を作るため、地域日本語教室の設置促進に取り組むことで、長崎県全体の多文化共生が進むよう取組んでいきたいと考えています。県民の皆様にもボランティアとしてご参加いただける仕組みを検討しておりますので、具体的な取り組み内容が決まりましたら、改めて誌上でお知らせしたいと思います。

外国人支援

最終回 やさしい日本語を使って外国人と話そう！

前々回（なびあ 112号）に引き続き、このコーナーでは、「やさしい日本語」の作り方のルールを説明します。「やさしい日本語」とは、普段使っている日本語よりも簡単で、外国人にもわかりやすい日本語のことです。災害が発生した時、日本語も英語も十分に理解できず、必要な情報を受け取ることができない外国人被災者のために考えられました。今では、平時でも、様々な国の外国人に行政情報や生活情報をわかりやすく伝える手段として広く使われています。なお、ルール①～⑤については、当協会のホームページにて「なびあ 111号」及び「なびあ 112号」をご覧ください！

過去の「なびあ」はこちら♪



ルール⑥ 漢字は少なく、すべての漢字にルビ（ふりがな）をふる

- × 電話は使えません → ○ 電話(でんわ)を 使(つか)うことが できません

ルール⑦ 時間や年月日は外国人にも伝わる表記にする

- × 8時(じ)30分(ふん)～21時(じ)30分(ふん) → ○ 午前(ごぜん) 8時(じ)30分(ふん)から 午後(ごご) 9時(じ)30分(ふん)まで
- × 令和(れいわ) 4年(ねん) 1月(がつ) 1日(にち) → ○ 2022年(ねん) 1月(がつ) 1日(にち)

ルール⑧ 動詞を名詞化したことばは使わず、動詞文にする

- × 揺(ゆ)れがあった → ○ 揺(ゆ)れた

ルール⑨ あいまいな表現・二重否定の表現は避ける

- × おそらく津波(つなみ)がきます → ○ 津波(つなみ)が 来(く)るかも しれません
- × 通(とお)れないことはない → ○ 通(とお)ることが できます

ルール⑩ 文末表現はなるべく統一する

可能表現は「れる」「られる」ではなく、「することができます」とします。不可能表現は「することができません」とします。指示文末は「～しましょう」ではなく、「～してください」とします。「～しましょう」には指示以外にも勧誘の意味もあるので、「～してください」の方がわかりやすいためです。

- × 入(はい)れます → ○ 入(はい)ることが できます
- × 手(て)を洗(あら)いましょう → ○ 手(て)を 洗(あら)って ください

やさしい日本語をつくってみよう！

1) 20時～ この道路は通れます。

→

2) 14時45分、長崎市で、大きな揺れがありました。

→

3) 新型コロナウイルスに 感染しないとも限らないので 手を洗いましょう。

→

やさしい日本語は、外国人だけでなく子どもや高齢者、障害をもつ人にもわかりやすく伝えることができます。



- 1) 午後8時から この道路を 通ることができます。
- 2) 午後2時45分、長崎市で、大きな揺れがありました。
- 3) 新型コロナウイルスに 感染するかもしれないので 手を洗ってください。

解答例

コラム

長崎県外国人相談窓口にベトナム人相談員が着任しました！



みなさん、こんにちは。私の名前は、道辻杏（ベトナム名：^ホアン^テイトゥ^ウ）です。私は、ハノイから車で1時間ほどのバクザン省というところで生まれ育ちました。8年前、私は留学生として日本に来ました。長崎の大学を卒業後、福岡県の食品会社に勤めていました。福岡で2年間働いた後、結婚して、第二の故郷だと思っている長崎に戻ることにしました。

長崎県に住み、勉強したり、働いている外国人のための相談窓口である「長崎県外国人相談窓口」で、2022年1月から働いています。在留資格、法律、仕事、日常生活など、困った時や話し合いたい時にここに来ることができます。お困りの際は、気軽にご相談ください。

今回は、ベトナムの伝統的なお正月（テト）について皆さんに紹介したいと思います。ベトナム人のための伝統的なテトは、一年の内で最も重要な祭りです。キリスト教に従う西洋諸国では、クリスマスは神聖で重要な休日であるように、テトも同様です。

一年の重要なテトに備えるために、すべての家庭では、しばしば多くの新しい家具、新しい服を購入し、家を掃除し、祖先を崇拝するために特別な料理を準備します。その特別な料理は、各地域で最も丁寧に準備されたものであり、独自の特徴があります。最も重要な共通点は、鶏肉、バンチョン（もち米で緑豆・豚肉を挟み、ジョンの葉で包んでゆでたもの）などのおいしい料理です。私にとって、バンチョンを包む日は一年で最も幸せな日であり、家族全員が集まり、もち米を浸したり、緑豆を準備したり、豚肉をマリネしたり、ジョンの葉を洗ったりします。

また、先祖の祭壇には、様々な特別な料理に加えて、5種類の果物の盛り合わせ、お菓子、ソフトドリンク、ビール缶、お花もお供えします。お花も非常に厳しく選ばれ、新年の幸運をもたらすために明るい色が使われます。北部の人々がテトを祝う典型的な花は桃の花ですが、南部の人々はマイの花を好みます。

さらに、テトの日には、伝統遊戯、テト市場（テトに必要な飾りや食べ物、洋服などを売る市場）、花市場（テトの時期に飾る花を売る市場）のようなものもたくさんあります。伝統遊戯は、テトの雰囲気盛り上げるために行われ、主にポットブレイク（目隠しをして、紐で吊るされた陶器を棒で割る）、糞虫競争（麻袋に入ってジャンプする）、綱引き、縄跳びなどがあります。

伝統的なテトには、新年の機会に親戚、友人、隣人を訪ねる習慣もあります。訪れるたびに、家主は子供やお年寄りにお年玉をあげ、新年の初めに、健康、繁栄、そしてお互いを思い願います。これは習慣であるだけでなく、すべての人が充実した平和な生活を送れるように気遣い、願うベトナム人の文化的な美しさでもあります。機会があれば、私の故郷ベトナムを訪ねてくださいね！

テトの豪華な料理♪



お母さんが作るバンチョン



世界でキラリ★ JICA 海外協力隊



ワナッカム スガマー？
வணக்கம். சுகமமா ?

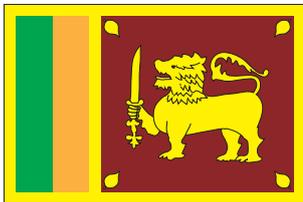
こんにちは。お元気ですか？

「子どもたちのために出来ることを—スリランカでの障害児支援—」

吉岡 詩織（よしおか しおり）さん

【2016年（平成28年）3次隊 スリランカ 障害児・者支援】

世界中で活躍する JICA 海外協力隊。2017年1月からスリランカで障害児・者支援隊員として活動した吉岡さんにお話を聞きました！
サリーがとてもお似合いですね。色鮮やかで綺麗です。



スリランカ民主社会主義共和国（通称：スリランカ）はインドの南に位置し、紅茶がとても有名な島国です。「スリランカ」という国名は「光り輝く島」という意味。首都はスリジャヤワルダナプラコッテ。吉岡さんは東部に位置するカルムナイで活動されました。



私はスリランカ東部のカルムナイという地域で活動していました。首都からバスで11時間もかかる遠い田舎町ですが、人々が親切で温かくて過ごしやすい所でした。活動では、地域の特別支援学級のある学校を巡回して、主に知的障害や自閉症の子どもたちへ向けた遊びや工作の紹介、手作り教材の紹介などを行っていました。支援が必要な子どもたちへは、絵カードなどの視覚教材や、おはじきなどの具体物を用いた教材がわかりやすいのですが、巡回先の学校では教材が少なく、ノートにひたすら文字や数字を書くだけの授業をしているクラスもあったので、段ボールで数字カードを作るところから始めました。そして、色や形、文字などの認知を育てる教材や、手先の動きを育てる教材などを、段ボールやお菓子の箱などを使って、お金をかけなくても作れるということをアピールしながらたくさん紹介しました。私の作った教材で子どもたちが楽しそうに学習してくれて嬉しかったです。また、「みんなにもっと広めよう」と先生たちを集めてセミナーを開催してくれる人がいたので、2年間で少しでも役に立てたのかな、と感じることができました。

現在は、地元の長崎に戻り、障害児の通所施設を運営しています。スリランカの子どもたちのキラキラした笑顔が今でも忘れられないので、長崎の子どもたちの笑顔に満ちた施設にできるように日々頑張っています。



折り紙制作の作品



教材作りセミナー



指先を使った制作活動

協会からのお知らせ

国際交流応援プロジェクトの支援団体を募集します！

国際交流スタート支援 〈募集期間：令和4年4月1日(金)～6月30日(木)〉

初めて国際交流のイベント等をやってみたい、あなたのための支援。例えば……

- 地元の魅力、伝統事業や芸能を活かした交流
- 在住外国人と地元の人々との交流を深めるイベントの開催 など

支援内容：企画・運営などをサポートします。また、上限10万円で、実施経費の一部を助成します。

※支援団体は、選考の上決定します。

草の根国際交流支援 〈募集期間：令和4年2月18日(金)～3月18日(金)〉

国際交流事業を行っている、あなたのための支援。例えば……

- お互いの国の文化や芸術での交流
- スポーツや学校などの青少年の交流 など

支援内容：上限10万円で対象経費（講師の謝礼、交通費、会場使用料、交流会費など）の1/2以内を助成します。

※支援団体は、選考の上決定します。

※実施に当たりましては、令和4年度の長崎県の予算成立が前提となりますので、今後、内容などに変更があり得ることを予めご了承ください。

詳しい募集要綱は、協会の公式HPからご確認ください！



外国人のための専門家による相談会

長崎県にお住まいの外国人を対象に、在留資格、法律、仕事のことなどの専門相談会を行いますので、お気軽にご相談ください。周りにいる外国人の方で、相談したいという方がいらっしゃいましたら、ぜひお声かけください。

- 対応言語：英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語、タイ語、インドネシア語、タガログ語など、多言語に対応します。
- 相談料：無料
- 秘密は絶対に守りますので、安心してお気軽にご相談ください。
- 相談は予約制ですが、当日、電話または直接お越しいただいても対応いたします。

場 所：出島交流会館1階（長崎市出島町2-11 長崎県国際交流協会内）
電 話：095-820-3377

※毎月第4土曜日に開催しますが、月によって異なりますので日程についてはホームページ又はFacebookをご確認ください。



外国人お助けガイドブックを是非ご利用ください！

ながさき生活ガイドブック

長崎県内での生活の基本情報、在留資格に関すること、市役所・役場でできること、日本でのルールやマナーなどを掲載。

病院に行く時につかう本

外国人の方が病院に行く時に必要な情報掲載。問診表もあり。

知っておこう！災害が起こるその前に！

災害が起こってからでは遅い！
災害が起こるその前に！
備えるためのリーフレット。

詳細は協会のHPをご確認ください！



外国人支援事業を応援してくださる賛助会員を募集しています！

年会費 個人会員：3,000円
法人会員：10,000円

賛助会員になって、長崎県の国際交流や国際協力の活動を支えたい、在住外国人の支援をしたいという方、詳細をお知りになりたい方は、是非、当協会までお気軽にお問い合わせください！

